

(令和5年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 **高知県** (都道府県: **高知県**)
 本事業の担当部局名 **子ども・福祉政策部 子育て支援課**

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業		
区分	一般メニュー		
関連事業メニュー	1.1.1 結婚支援センターの開設・運営、マッチングシステムの構築		
個別事業名	こうち出会いサポートセンター運営事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度 平成27 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	16,637,368		円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)</p> <p><地域における実情と課題> 本県の合計特殊出生率は、平成29年は前年を0.09ポイント上回る1.56であったが、その後下降に転じ、令和3年においては1.45と前年より0.02ポイント上昇。出生数は過去最少となった前年から8人増の4,090人と横ばいの状況だったが、婚姻件数については、対前年△108組の2,332組で戦後最少となった。これまでの取り組みにより本県の合計特殊出生率は平成21年の1.29を底に回復基調にあるが、目標としている令和32(2050)年の合計特殊出生率2.27の達成に向けて出生率を高めていく必要がある。 また、令和4年度に実施した県民意識調査によると、「高知県が安心して『結婚』『妊娠・出産』『子育て』できるような社会になっていると考える人の割合」について、ライフステージの各段階別で分析すると、「子育て中の方」の27.4%に対し、「子どもがいない方」は19.9%と、7.5ポイント低く、様々な支援サービスを知らないことなどが漠然とした不安感につながっていると推測されるため、特に、子育て前の若い世代の「不安感の解消」が重要である。 さらに、同県民調査では、理想とする子どもの数(2.20人)と予定する子どもの数(1.85人)に乖離があり、その理由として、経済的な問題の次に仕事と家庭の両立の困難さがあるためと考えられ、仕事と育児の両立ができる環境づくりの取組を推進していくことも重要である。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本県においては、少子化対策を県の5つの基本政策に横断的に関わる政策の1つとして位置づけ、「第2期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「総合戦略」)において、「『結婚』『妊娠・出産』『子育て』の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する」ことを基本目標の一つとし、「Ⅰライフステージの各段階に応じた少子化対策」「Ⅱ官民協働による少子化対策を県民運動として展開」「Ⅲ女性の活躍の場の拡大」を基本的方向として構成して取り組んでいるところである。 総合戦略の基本的方向「Ⅰライフステージの各段階に応じた少子化対策」の具体的施策として、 (1) 出会いの機会の創出 (2) 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり (3) 安心して子育てできる環境づくり～働きながら子育てしやすい環境づくり～ の取り組みを行っており、本個別事業は上記(1)のための施策の一つとして実施するものである。</p> <p>(本個別事業における現状と課題) こうち出会いサポートセンターは平成27年度に運営を開始し、本所である高知市のほか、平成28年度には東部の安芸市、西部の四万十市にも支所を設置し、全県にわたって広域的な支援を可能としている。また、平成28年4月から本格的にマッチングシステムの運用をはじめ、お相手検索シミュレーション機能や自宅申込・閲覧機能、オンライン入会・更新機能などマッチングシステムの高度化を図ってきており、令和4年12月末時点で会員数は715人、累計登録者数は2,400人以上となっている。 一方で、マッチングシステムの登録期間は2年間となっており、成婚による退会のほか、更新登録がなされず、有効期限切れによる自動退会も毎年一定数あることから、会員数確保に向けて退会に至る理由の調査や、更新登録に向けた取組が必要である。</p> <p>(課題への対応) 令和5年度に退会を迎える会員のほか、お引き合わせ申込やイベントへの参加等がなく、活動が鈍化している会員に対し、センター職員がシステムやメルマガを通じて積極的にコンタクトを取り、活動の活発化を促す。 会員の活動にあたっての不安感等の悩みについても事情を把握するとともに、希望があればマッチングサポーターや結婚相談所による相談会付きの出張登録閲覧会を案内するなど必要な支援を検討し繋げることで会員の自動退会を防止する。</p>		

	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	個別事業の内容	1	結婚支援センターの運営	結婚支援センターにおいて実施する業務は以下のとおり。 【体制】現場責任者1名、一般職員3名、パート職員6名(想定) 【開所日時】高知:日・月 10:00~17:00 火・水・木 13:00~20:00 安芸:日曜日必ず開所。水 不定期 四万十:日曜日必ず開所。水・木 不定期 【事業内容】 ・出会いサポートセンター窓口運営業務 ・出会いイベントに関する業務、マッチングシステムに関する業務、「高知で恋しよ!!応援サイト」 ・運営管理、相談に関する業務、独身者を支援するボランティアの養成や活動支援 等 ・企業等の子育て支援への参画促進業務 ・高知家の出会い・結婚・子育て応援団への登録促進及び育児休暇・育休休暇取得促進宣言企業数の増加に向けた勧誘の実施 ・会員数の確保に向け、令和5年度退会予定者や活動が鈍化している会員に対する積極的なフォローアップを実施	
※(注)3 【次年度以降に向けた事業の方向性】 センター利用者の声の集約、反映や、新規会員登録者の確保に向けた取組等、センター運営にあたってより良いあり方の実践に向けて、県とともに検討し、随時取組のブラッシュアップや次年度以降の取組に繋げるなど、さらに連携した運営体制を目指す。					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
	合計特殊出生率(R6)			1.70	1.45 (R3)
	安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できる社会になっていると考える人の割合(R6)		%	50	22.0 (R4)
	理想的な子どもの数、現実的に持ちたい子どもの数(R6)			理想と現実の数を上昇、理想と現実数の差を縮小	理想の数2.20人 (R4) 現実の数1.85人 (R4)
	平均初婚年齢(夫・妻)(R6)			年齢低下	夫:30.8歳 (R3) 妻:29.6歳 (R3)
参考指標 ※(注)5	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.45 (R3)	
	婚姻件数		件	2,332 (R3)	
	婚姻率			3.4 (R3)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	マッチングシステム会員登録者数(R5)		人	900	715 (R4.12)
	引き合わせ成立数(R5)		組	400	255 (R4.12)
	カップル成立組数(R5)		組	180	115 (R4.12)
	成婚数(R5)		組	-	16 (R4.12)
	相談を受けた者の満足度		%	70	60.3 (R3)
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	センター認知度向上及び会員数増加のため、管内市町村には出張登録閲覧会の開催にあたって広報の協力をいただきとともに、自治体で実施する出会いイベント等の際に、併せてセンター事業についても広報する等、連携した出会い支援の周知に繋げていただく。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	本事業は、県主導で事業を展開するが、民間事業者においては、高知家の出会い・結婚・子育て応援団として登録していただき、本事業の周知及び広報PRにご協力いただく。 また、地域の独身者に対して、県の出会い・結婚支援事業の周知及び広報PRにもご協力いただく。				